

我が社は、乳がん・子宮頸^{けい}がんから社員や家族の健康を守る!!と
宣言し「検診受診率 80%」「検診受診率 現状+10%」を
目指して挑戦しています。

乳がん・子宮頸^{けい}がん
検診受診率 **80%** チャレンジ

現状+10%アップチャレンジ



50歳代前半までは男性より女性が多いのが「がん」です。

女性の2人に1人が、がんになる時代。
生涯で9人に1人が罹患する乳がんや、
20～30代に増えている子宮頸^{けい}がんは、
早期発見・早期治療すれば、90%が治ります。
女性社員のほとんどが検診対象者です。
「80%チャレンジ」「現状+10%チャレンジ」に
参加をして、社員の健康を守ります。

国が勧めるがん検診は

名 称	年齢/回数	方 法
乳がん	40歳以上 2年に1回	問診及び乳房X線検査 (マンモグラフィ) ※視診・触診は推奨しない
子宮頸 ^{けい} がん	20歳以上 2年に1回	問診・視診、子宮頸部の 細胞診及び内診 ※住民健診では、30～60歳の女性を 対象に「5年毎のHPV検査単独法」 も選択可能

■「80%チャレンジ」「現状+10%アップチャレンジ」とは

がん検診で大きな課題となっている企業・団体の乳がん検診、子宮頸^{けい}がん検診の受診率向上を目指すアクションです。
2020年度にスタートした「WorkingRIBBON」。参加企業が数値目標を設定、そこに至る方法を共有し合いながら、
より実効性のある取り組みにする活動です。(各社の現状に応じて目標を設定しています。)

賛同企業・団体は「80%チャレンジ宣言」「現状+10%アップチャレンジ宣言」等を行い、受診率向上を目指しています。